

民主

PRESS MINSHU

【2006年08月19日】

号外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1

電話03-3595-9988(代表)

press@dpj.or.jp

http://www.dpj.or.jp

戸倉多香子
活動特集号

民主党山口県総支部連合会

山口市中央5-8-12

083-933-0839

第21回参議院議員選挙山口県選挙区

公認予定候補決定!

とくら

たかこ

戸倉 多香子

8日、常任幹事会で決定した第21回参議院選挙の第1次公認候補が発表されました。山口選挙区は戸倉多香子が公認候補として決定しました。みなさまのご支援をお願いいたします。

9日、山口県庁にて記者発表し、立候補の決意を述べました。



3日、小沢一郎代表と民主党本部にて



戸倉 多香子(とくら たかこ)プロフィール

生年月日 1959年6月4日生まれ(47歳)

出身地 山口県周南市櫛ヶ浜

家族 夫、子供3人、夫の母

活動歴

1998年～ 周南ねっと(中心市街地にある古いビルの再生アイデアコンペ、徳山駅ビルにてミニFM局開局、まちづくりミーティング等々を主催し、市民参加によるまちづくりを目指す。市町村合併後のまちづくりを考えるフォーラム等も主催。)代表

2000年 徳山市インパク出展実行委員会(二千年紀を記念して国が主催したインターネット博覧会へ、市町村として参加することを徳山市へ提言。自ら実行委員長となり、ボランティア市民によるホームページ運営を実現。)実行委員長

2003年～ 周南のよあけを導く会(平成の大合併において全国でまきおこった議会解散運動としては、東かがわ市に続き2例目。全国の合併協議にも影響を及ぼすこととなる。)代表

もっとあたたかい、公平な社会を

これまで、自分の暮らしている“まち”にこだわって、活動してまいりました。平成15年に県内でトップをきって合併した周南市の新しいまちづくりにも大きな期待を持ちましたが、残念ながら、市議会議員報酬の高額統一をきっかけとして、市民の怒りが大きくなりました。その声を集め、議会解散を目指す署名運動に取り組んだ「周南のよあけを導く会」の代表のひとりとして実感したのは、おかしいことは、おかしい、とみんなで声をあげれば、変えることができるんだ!ということでした。

私は、今、あまりにもひどい政治を“おかしい”と思っています。そして、私と同じようにおかしいと思っている声をたくさん聞きます。まるで、議会解散を目指そうと決意した時のようです。

小泉政権の5年間を振り返ってみますと、不誠実な総理の“言葉”により、冷たく信用のできない政府が確立されました。地方に暮らす私たちの生活を痛めつけ、格差と不安をひろげるだけの政治は、もうこりこりです。「再チャレンジのできる社会を」と言われても、最初のチャレンジさえできない私たちの暮らしをご存じないのでしょうか、とってしまいます。

もっとあたたかい、公平な社会を目指したいと思います。そのためには、政権交代が必要です。来年の夏の参院選は大きなチャンス。これから1年間、苦しい闘いとなるでしょうが、笑顔で、がんばっていく所存です。ぜひぜひ、ご支援いただきますよう、お願い申し上げます。

戸倉多香子

ニッポンを動かす。

まだ間に合うかもしれない

「自民党をぶっ壊す」と言われて、小泉首相が壊されたのは、私たち日本人の自信と誇りだと思えます。

小泉政権の5年間を振り返ってみますと、お茶の間にいる私たち国民は、テレビを通して、常に劇場型政治というショーを提供されました。それは楽しいものであり、感動であり、サプライズの連続でした。新しい時代が来るんだと期待しながら、小泉内閣により作られた“痛み”に耐えて、耐えて、耐えて、もう限界だと悲鳴をあげたい気持ちで迎えたのは、“言葉”の薄っぺらな時代、約束を平気で破る時代、常に敵を作って結束しようとする時代、反対意見を封じ込める時代、不安をあおって争いを好む時代、自己責任の名のもとに政府が国民の保護を放棄する時代、知っている人たちがだけ得をする不平等な時代。

こんな不安な時代を受け容れて、はたして安心して子育てができるでしょうか？ 私たち女性が、子供を産みたいと思えるでしょうか？ お年寄りが心豊かに暮らせるでしょうか？

明らかに“言葉”とはうらはらな政策が押し進められてきました。

「法律の中身と法律の名称が、まったくの逆になっている！」と指摘する方がありましたが、まさに、障害者自立支援法、議員年金廃止法、医療制度改革法という法律の名称を見ると、国会と内閣が束になって、国民をだましていると思えます。

政権が交代しないということは、こういうことなのでしょう。

国民の基本的権利を保障するために、相互にけん制しあうはずの三権分立は、名ばかりのものとなってしまいそうです。「国策捜査」という言葉も流行り、

司法さえも大丈夫だろうかと不安になります。今や、マスメディアが第4の権力とも言われますが、4つの権力は、けん制しあうどころか、日々、結束を強めていると感じてしまいます。

その結果、“信じることのできない政府”が確立されました。そこから発表される数字は、まったく信用を失いました。そんな政府に安心して、“国民の命とお財布”を預けることができるのでしょうか？

お茶の間に垂れ流されているテレビ映像のひとつひとつを検証してみましょう。本当のことはどこにあるのか、自分の頭で考えてみましょう。地域で、職場で、学校で、率直に情報交換してみましょう。そして、いっしょに話し合ってみませんか？

おかしい！と思う感覚が麻痺してしまう前に、私たち国民が声をあげるべきだと思います。その声をみんなで大きくしていけば、“ぶっ壊された”日本の良さをもう一度取り戻し、新たな共生の時代を迎えるために大きな力になれると思います。

まず、その声を山口からあげましょう。

きっと、全国にも同じ思いの人たちがたくさんいます。そのネットワークづくりのために、私も、あらゆる可能性を手探りしながら立ち上がろうと思います。まだ、間に合うかもしれない。いえ、きっと間に合うと信じています。

戸倉多香子



photo by kagetarophotolife

とくらBlog

というブログ(インターネット上の日記)を書き続けています。インターネットをご覧になる方は、のぞいてみてください。

<http://ttokura.exblog.jp/>